

こうこう にゅうがくしき あさ
ある高校の入学式の朝

ある高校で本当にあったお話です。四月九日、入学式の早朝に新一年生の英子

さんの母親から「高校入学を辞退したい」という電話が高校にかかってきました。

電話に出た先生は、：「もしかして理

由は、経済的なものですか？」その問

いかけに、電話の向こうにいる母親は

少し考えこんだようすで、それから、

沈んだ声で話し始められました。

「実は私が交通事故を起こしてしま

い、入学する時のお金が準備できなく

なりました。高校の制服も買えていな

いのです：」



英子さんの家へ…

高校の先生は、さっそく校長先生や学年の先生と相談し、英子さんの入学したい気持ちを確かめたいと、出身中学校に連絡を取りました。中学校の先生に案内されて、一緒に家庭訪問に行きました。その家は中学校から自動車でも三十分かかる山の中。高校からだとい時間以上もかかりました。

ちようど、英子さんも母親も自宅にいました。玄関先で高校の先生は、入学金などの支援の事や学校に備えている制服について伝えました。英子さんの顔にだんだん笑顔が戻ってきました。

そして、二人の先生は翌日に高校に来ることを英子さんと約束して帰りました。

